

教科の概要 (保健体育)

I. 目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

II. 観点別評価の規準と基準

| 規 準 | | | |
|-----|---|--|--|
| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| | 十分満足できる | | |
| A | 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる。また、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるとともに、運動の多様性や体力の必要性について、 <u>汎用的な知識と関連づけて理解</u> しているとともに、それらの技能を <u>安定して身に付ける</u> ことができる。 【概ね達成率 80%以上】 | 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて <u>見通しをもつて思考し判断</u> するとともに、自己や仲間の考えたことを <u>わかりやすく</u> 他者に伝えることができる。 【概ね達成率 80%以上】 | 生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、 <u>主体的に公正に取り組む</u> 、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にすることができる。また、 <u>積極的に</u> 健康・安全を確保することができる。 【概ね達成率 80%以上】 |
| B | おおむね満足できる | | |
| B | 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができる。また、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるとともに、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けることができる。 【概ね達成率 35%以上】 | 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【概ね達成率 35%以上】 | 生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にすることができる。また、健康・安全を確保することができる。 【概ね達成率 35%以上】 |
| C | 努力を要する | | |
| C | 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができない。また、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるとともに、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けることができない。 | 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断することができず、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができない。 | 生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にすることできない。また、健康・安全を確保することができない。 |

III. 授業の概要

| 教科 | 保健体育 | 科目 | 体育 | 単位数 | 2 | 年次 | 1 |
|-------|---------------------------|----|----|-----|---|----|---|
| 使用教科書 | 無し | | | | | | |
| 副教材等 | Active スポーツ・ステップアップ高校スポーツ | | | | | | |

1. 学習の目標

体育の見方・考え方を働きかせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようになる。
- (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

2. 3観点の評価規準

| 規 準 | | |
|--|---|---|
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる。また、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について、 <u>汎用的な知識と関連づけて</u> 理解しているとともに、それらの技能を <u>安定して</u> 身につけることができる。 | 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて <u>見通しをもって</u> 思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを <u>わかりやすく</u> 他者に伝えることができる。 | 運動における競争や協働の経験を通して、 <u>主体的に</u> 公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にできる。また、 <u>積極的に</u> 健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けることができる。 |
| 上記の規準に対して、「十分満足できる」場合はA、「おおむね満足できる」場合はB、「努力を要する」場合はCとして評価する | | |
| 評 価 方 法 | | |
| 実技テスト、筆記テスト、学習カード、レポート等 | 筆記テスト、学習カード、観察、レポート・発表等 | 学習カード、観察等 |

3. 学習内容

| | |
|-------------|---|
| 1 学 期 | 前半 体つくり運動 体育理論 後半 種目選択 (ダンス・器械運動) |
| | 前半 体つくり運動 体育理論 種目選択 (水泳・バスケットボール・ソフトボール) 後半 種目選択 (バレー・サッカー) |
| 2 学 期 | 前半 種目選択 (空手・バドミントン・テニス) 後半 種目選択 (バスケットボール・バレー・サッカー) |
| | |
| 3 学 期 | |
| | |

4. 学習方法

- 体育着、シューズ（屋内用・屋外用）を使用する。水泳選択者は水着を使用する。筆記用具を使用する場合がある。
- 男女共修。
- 評価は単元ごとに行う。
- 各単元においてテストや学習カードおよびレポートの提出がある。
- 種目の選択は定員数によって希望外になる場合がある。

IV. 授業の概要

| 教科 | 保健体育 | 科目 | 保健 | 単位数 | 1 | 年次 | 1 |
|--------------|----------------------|----|----|-----|---|----|---|
| 使用教科書 | 第一学習者 保体703 高等学校保健体育 | | | | | | |
| 副教材等 | 第一学習社 高等学校保健体育ノート | | | | | | |

5. 学習の目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

- (4) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
- (5) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- (6) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

6. 3観点の評価規準

| 規 準 | | |
|--|---|--|
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 個人及び社会生活における健康・安全について <u>汎用的な知識と関連づけて</u> 理解を深めるとともに、 <u>正確な</u> 技能を身に付けることができる。 | 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて <u>見通しをもって</u> 思考し判断するとともに、目的や状況に応じて <u>わかりやすく</u> 他者に伝えることができる。 | 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを <u>主体的に</u> を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を <u>積極的に</u> 身に付けることができる。 |
| 上記の規準に対して、「十分満足できる」場合はA、「おおむね満足できる」場合はB、「努力を要する」場合はCとして評価する | | |
| 評 価 方 法 | | |
| 実技テスト、筆記テスト、学習カード、レポート等 | 筆記テスト、学習カード、観察、レポート・発表等 | 学習カード、観察等 |

7. 学習内容

| | |
|-------------|------------------------------|
| 1 学 期 | 第1章 現代社会と健康 |
| | 健康の考え方 現代の感染症とその予防 |
| | 生活習慣病などの予防と回復 |
| 2 学 期 | 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 |
| | 精神疾患の予防と回復 |
| 3 学 期 | 第2章 安全な社会生活 安全な社会づくり 応急手当 |

8. 学習方法

- 教科書およびノートを使用する。
- 各HR教室でクラス単位の授業を行う。
- 評価は学期ごとに行う。
- 定期テスト、単元テストや、ノートおよびレポートの提出がある。